

常なる磐

つねなる いわ season II

令和 4年 2月10日(木)

その3

◇ 常磐東小学校 20代校長 野村鉦吉 先生 を偲んで

令和4年2月2日、20代校長 野村鉦吉 先生（享年95歳）がご逝去された。生前に先生からいただいた先生執筆の書籍「教育と一般的指導の改善」（2020.5.25 初版発行）の一節を本稿で紹介し、故人を偲びたい。



【人道について】

- 一、地球に軌道があるように、人間にも歩むべき道がある。
「自分の幸福と他人の安全を同時にもたらず道」を歩むべきで、これが人道であると思う。
- 二、人の歩むべき道は、持って生まれた本能の中に見ることができる。本能は、
A:自己保存 B:種族保存 C:社会保存 D:時代への適応力を備えているからで、この機能を満たす行為が人道であると言えよう。そして、わかりやすく示している言葉が戦前に使われた教育勅語の中にある。
「父母に孝に、兄弟に友に、夫婦相和し、朋友相信じ、恭儉己を持し」とあるが、古今を通じての名言であり、これこそ人道である。

※ 恭儉: 人に対してはうやうやしく、自分自身には慎み深く振る舞うこと

【夢を育てよう】

人が人道を歩むようにするには、その人の夢を語らせ、その人の夢を理想にまで高めてやるのが第一に重要である。
理想を持てば努力することができるから。
その人の心に浮かぶことが、些細なことでも、つまらないようなことでもよい。まず、心胸を開いて話してもらうことが始めである。
誰でも現在希望することが必ずある。それをそのまま尊重して意識させたい。過大な希望でも、取るに足らないと思うものでもよい。本人の願いこそが夢であり、希望である。

(中略)

その願いは、はかなくてもよい。その夢を、外に出て太陽に向かい、念じてみるようにすすめたい。

太陽は明るさと元気を与えてくれるから。

著者:野村鉦吉 氏 紹介

- ・1928年生、2022没。 ・愛知第二師範学校卒業
- ・昭和28年 教育論文「民主教育への歩み」により、愛知県知事賞受賞。
- ・昭和52年 放送教育論文「学校包装の利用」により、NHK 会長賞受賞。
- ・昭和59～62年 岡崎市立常磐東小学校校長を務める。

一期一会、人は出会いで変化していく。
(中略)

褒めてもらった内容にもよるが、高学年ともなれば自分の価値を知り、その道で生きることが天より自分に与えられた使命だと感じるようになる。教育では、自分が努力すれば自分の力で前進できると思わせるような発達段階に応じた方途を与えれば、人は変えることができるのである。